

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	上下水道に関するPR事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	経営業務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開	主管課長	秋谷 孝				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	水道利用者及び下水道利用者	意図	水道水の安全性や下水道の仕組みなど、上下水道局の経営や現状に理解と関心を持ってもらう。
事業内容	水道週間に合わせた6月第一日曜日に上下水道展を開催し、ポスター、上下水道に関するパネル展示及びアンケートの実施のほか、施設見学会や応急給水体験など特別なイベントを通じて理解と関心を深める。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度から上下水道局となり、水道事業、下水道事業のPR活動を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	上下水道展への来場者	542	654	570	人	↑↑↑	アンケートの回答数
②	啓発ポスター応募者数	590	573	596	点	↑↑↑		
③	ペットボトル水配布数		8,429	12,762	本	↑↑↑		
④	広報誌製本			56,440	部	↑↑↑		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 上下水道展及び市民まつりは管工事組合や委託先と連携してPR活動を行った。来場者については昨年度とほぼ同等であった。 ペットボトル水の提供については、上記イベント内での利き水後に提供したことや、製作から1年経って他部署にも浸透したこともあり、配布本数はおよそ1.5倍になった。 また本年度は市民向けの上下水道広報誌「ながれやま上下水道だより」を作成し、市内新聞購読者及び公共施設等に配布した。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,893,378	5,453,312	6,168,256				
事業費(b)(円)		342,378	1,934,562	2,646,756				
うち一般財源		342,378	1,934,562	2,646,756				
職員給与費(c)(円)		3,551,000	3,518,750	3,521,500				
人役・職員(人)		0.25	0.25	0.25				
人役・再任用(人)		0.25	0.25	0.25				
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各種イベントへの出展、水道水がおいしくなったことを積極的にPRしていくため、広報誌を作成する。	③取組における課題(Check)	イベント等を通じて上下水道事業への関心をますます高める必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	各種イベントへの出展、水道水がおいしくなったことを積極的にPRしていくため、広報誌を作成した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	引き続き各種イベントへの出展や広報誌作成等を通して、水道水がおいしくなったことを積極的にPRしていく。またペットボトル水の製作本数は在庫数と照し合せて削減する余地もある。